



ようこそ

ソートストーム®・プロジェクトへようこそ。あなたがソートストームをご使用になる目的が、実用的な問題解決のためであろうと、宇宙の秘密を哲学的に解き明かす試みのためであろうと、あるいは、一晩の娯楽のためであろうと、ソートストームから私たちが得られたのと同じだけの利益を得ることができることを心から望んでいます。また、いつか私たちがみなさんとつながることができる日を楽しみにしています。

この説明書では、ソートストームを始めるにあたって新しい参加者の皆さんが知っておくべき全てのことが説明されています。

手順

- 1) トピックとしての文と、それに続く問題が、パイロットからグループに与えられる。
- 2) さまざまな応答を分かち合ったり、詳しく説明したり、廃棄したりする。パターンが現れだし、グループは根底にある原則、信念、因果関係などをおおざっぱにつかみ取り始める。パイロットは、精神的元気の回復のために静寂の時を持つように指示したり、あるいは、それが自然に起こるのを待たせたりすることがある。考えの出所(つまり、誰がそう言ったかとか、誰が最初にそれを考え付いたか、など)はいつでもいいことである。
- 3) 一つ以上のコアセプト(「コアセプト」の定義: 誰もがそれを通して現実を創造、知覚、解釈するような《概念の固まり》の数々の核となる概念)が現れるまでソートストームを続ける。いくつかの問題は、一つのコアセプトによってよりも、リスト、尺度、手順などによって表現することによって、より意義深く答えられるものもある。コアセプトはグループから直観的な認識と合意を誘発する。それは「ああ、もちろんそうだ!」という反応である。コアセプトが参加者全員に明らかになるまで推し進める。
- 4) もしもグループが過度に論争的になったりけんか腰になったりした場合には、パイロットは、「私たちは何について合意するのか?」という問いを問いかけることによって、いくつかの合意を記録する時間をとる必要がある。

ソートストームの原則

- 1) 共通の基盤から発生しているのではないソートストーム・セッションは、大きな価値ある成果もたらす可能性が低い。
- 2) リラックスして、起きるがままにさせ、自己の比較をやめることで、ソートストームのために「エゴ禁止地帯」が創り出される。
- 3) ソートストームの成功のための材料は、(1) 偏狭でない思考、(2) 識別、(3) 慈しみ、である。これらの間のバランスが達成されたとき、マインド・リンクングが起こる。
- 4) ソートストーム・グループが論題のコアセプトのレベルにまで貫通する能力は、そのグループの決意と整合によって決まる。
- 5) 十分な時間にわたって、ある特定の現象に対して注意を向けることによって、その現象の性質について一層明確に理解することができるようになる。

アドバイス

- 1) 誰でも、いつでも、何でも発言したり質問したりしてよい。
- 2) 考えの出所はいつでもいい。
- 3) 心地よく感じられる程度に、アイデンティティー(自分は何であるという考え)や境界のない意識の視点に立つことが必要である。
- 4) 連想し、憶測し、許容し、推断することを学ぶ。
- 5) コアセプトが全ての参加者に明らかになるまで推し進める。

ソートストームで発生したことがある現象

以下の現象の発生については、特別の意味のある順番で列記しようとする意図もなく、説明したり何らかの予測をしようとするつもりもありません。多くの参加者にみられた現象について記しておくだけです。

- 1) 3回目か4回目のセッション(1週間おきの2時間のセッション)までには、すべての参加者が個人的な収入が増加したと報告した。
- 2) ソートストームの勢いの中で、何人かの参加者たちは自分が他の参加者の考えを述べていたり、他の参加者が自分の考えを述べていたりすることに気づいた。
- 3) ほとんどすべての参加者たちが、セッションの間、あるいはその後に精神的に大変敏感になったと感じた。
- 4) すべての参加者がコアセプトの発見に関連するような快い感覚を知覚した。
- 5) 宗教的あるいは霊的な性質を持った超自然的現象(即ち、普遍的意識、宇宙的意識など)も、しばしば認められた。
- 6) 発生したいくつかの現象の説明として、グループESP(超感覚的知覚)や念力による物体移動などが示唆されたが、それは確認されてはいない。
- 7) 精神的な盲点や、何かについて考えることができなくなる状態(教化のブラックホール?)に遭遇したことがある。
- 8) どこから発生しているのか不明な精神的イメージを、何人かの参加者が同時に知覚したことがある。

用意ができたなら、整合問題を用いてソートストームを初めてください。